

平成30年度使用  
小学校道徳科用教科用図書選定のための資料

岩手県教育委員会

調査票		種目名 (小学校道徳科)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	学図(11)	教出(17)	光村(38)	日文(116)	
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	重点化した指導内容について複数の教材を配置し、繰り返し指導を行うことで、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	読みもの編と活動編を関連付け、自らを振り返り見つけ直すことにより、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	モラルスキルトレーニングや役割演技等の体験的な学習を通して、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	日常生活に関連のある教材とコラムを組み合わせた「ユニット」により道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	「心のベンチ」や「道徳ノート」を用いて、様々な問題場面から道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	教材冒頭に考えるポイントを示して問題を焦点化し考え、議論しながら、道徳的な判断力の育成ができるよう工夫されている。	授業の導入や終末で活用できる問いをもとに、考え、議論する場を設け、道徳的な判断力の育成ができるよう工夫されている。	「学習の手引き」により他者との対話や議論を行い多様な考えに触れながら、道徳的な判断力の育成ができるよう工夫されている。	「考えよう」に三つの問いを位置付け、自分との関わりで考えながら、道徳的な判断力の育成ができるよう工夫されている。	話合いの論点等をイラストや写真で具体的に示し、考えを引き出しながら、道徳的な判断力の育成ができるよう工夫されている。
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	「考えるステップ」を話合いの手引きとし、問題解決的な過程を意識して、主体的に学習することができるよう配慮されている。	教材に応じて考えたり表現したりする効果的な活動を示すことにより、主体的に学習することができるよう配慮されている。	導入文や教材の最後で、数多くの発問について考えることを促し、主体的に学習することができるよう配慮されている。	児童の活動と関連した話合いの場面を意図的に位置付けて、主体的に学習することができるよう配慮されている。	「学習の手引き」に役割演技や問題について話し合う活動を位置付け、主体的に学習することができるよう配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	各教材のねらいに基づいて発問等を厳選し、十分な言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	活動編を用いて、内容項目ごとに自分の考えを振り返る言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	望ましい行動を考え、道徳的態度につながる言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	役割演技や書き込み等、発達段階に応じた言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	自他の考えを比較できる別冊「道徳ノート」を活用した言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	「つながる・ひろがる」で各教科等との関連を明記し、他教科への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	人権・福祉教育やキャリア教育等の現代的な課題を取り上げ、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	巻末の補助教材を各学校の実態に合わせて活用することにより、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	キャラクターが次の道徳的行為につながるように呼びかけ、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	伝統文化やキャリア教育等に関連付けた教材を取り扱い、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	全学年に、直接的教材と間接的教材の2つをユニットとする教材を取り入れ、現代的課題に対応できるよう配列されている。	見開きのノートに考えを記録しながら、心の変容を実感できるようにし、特設ページで考えがより深まるよう配列されている。	はじめに自分自身や友達との関わりに関する教材を多く取り入れ、児童の学習状況や発達段階を踏まえるよう配列されている。	「生命の尊さ」を重点項目とした教材を、全学年に三つずつ位置付け、自らを大切にすることを育むよう配列されている。	学校の実情に合わせ、1学期に「学級づくり・人の関わり」を位置付け、3学期は「振り返り」ができるよう配列されている。

調査票	種目名 (小学校道徳科)						
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	学図(11)	教出(17)	光村(38)	日文(116)	
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	安全・防災等の多様な教材を通して、地域を大切にしようとする心を育むよう工夫されている。	地域に関わる行事や人物の教材を、高学年で重点化し、自分の地域に関心をもてるよう工夫されている。	郷土の偉人、季節行事、震災等を教材として取り上げ、地域に目を向けさせるよう工夫されている。	地域の題材や伝統文化を紹介し、自ら地域のよさを探究する態度につながるよう工夫されている。	身近な地域や全国各地の伝統文化に関する教材により、伝統文化に愛着がもてるよう工夫されている。
	3	内容と分量のバランスについて	全学年に34～35教材を取り上げ、四つの視点に関わる教材の数がほぼ等しく網羅され、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年に34～35教材を取り上げ、四つの視点で発達段階に応じて重点化を図りながら、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年に30教材を取り上げ、ゆとりをもった教材の数が配置され、巻末の補助教材を含め、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年に34～35教材を取り上げ、目指す児童の姿を巻末に示し重点化を図る等、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年に34～35の主教材を取り上げ、巻末に付録として教材をさらに収めることで、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	教材本文や問いかけ文に文節改行や分かち書きを取り入れ、読み取り易くなるよう配慮されている。	心情理解の一助として、児童が抵抗なく読める文字数にして、読み取り易くなるよう配慮されている。	低学年での文節改行や、できるだけ平易な言葉の使用をし、読み取り易くなるよう配慮されている。	熟語の混ぜ書きや、第1学年の行頭での助詞表記を避けており、読み取り易くなるよう配慮されている。	会話文を多用して、心情や場面状況の把握の一助となる等、読み取り易くなるよう配慮されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	読み易さを考慮し、少し太目の教科書体文字を独自に開発する等、表記の工夫がされている。	標準的な教科書体文字で、発達段階に応じた大きさの文字を使用する等、表記の工夫がされている。	挿絵や写真等の数を厳選し、一つ一つを大きく掲載する等、表記の工夫がされている。	教材の内容に応じた文字の大きさや書き文字に近い教科書体文字の使用等、表記の工夫がされている。	教材や学年に応じた文字の大きさと書体、罫線や囲み等により、視覚的な表記の工夫がされている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	内容項目別目次により、見通しをもって学習できるようにする等、使い易くなるよう配慮されている。	目次に、四つの視点ごとに色分けやマークを入れる等、使い易くなるよう配慮されている。	索引で、内容項目から教材を調べることができるようにする等、使い易くなるよう配慮されている。	持ち易いB5判の判型で、教材の冒頭に目次を明記する等、使い易くなるよう配慮されている。	四つの視点に合わせ、内容項目を色分けして表示する等、使い易くなるよう配慮されている。
	総合所見	生活にいかせる問題解決的な学習を取り入れ、重点化した指導内容について複数の教材を配置し、繰り返し指導を行うことで、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、教科書体文字を独自に開発し、少し太目で読み易い表記になるよう配慮されている。	読みもの編と活動編の分冊化により、自らを振り返り見つめ直して児童が道徳的価値に迫り、今後にいかす学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、現代的な課題を取り上げ、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	学びの手引きが、授業の流れに沿って、教材の本文や道徳的価値に対する設問と、今後の行動への示唆等の設問で構成され、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、ビジュアル面の充実を図り、教材の理解を深め、考える手がかりになるよう配慮されている。	多様な教材と、「考えよう」の三つの問い、他教科や生活にいかす「つなげよう」を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、読みの負担を軽減するため、熟語の混ぜ書きを極力避け、持ち易いB5判の判型で使い易くなるよう配慮されている。	別冊「道徳ノート」を活用しながら、ワイドな紙面に構成された感動・共感を呼ぶ教材での豊かな対話と学び合いを通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、現代的・社会的課題への対応や伝統文化の尊重と国際理解等について配慮されている。	

調査票		種目名 (小学校道徳科)					
観点	項目・発行者名(番号)	光文(208)	学研(224)	廣あかつき(232)			
1 内容	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	各教材の冒頭に、主題名と学習の見通しを示す一文を位置付け、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	様々な問題場面を設定し、物事を多面的・多角的に考えながら、道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。	教材ごとに、内容項目の解説を明記し、学習の方向付けをしながら道徳的価値の理解が深まるよう配慮されている。		
	2	思考力・判断力・表現力等を育むための配慮や工夫について	自分自身の今までと今後の行動を考える場面を通して、自分の変容を捉え、道徳的な判断力の育成ができるよう工夫されている。	本文との出会いを大切に、児童自らが見出した課題を考え、議論しながら道徳的な判断力の育成ができるよう工夫されている。	「考えよう・話し合おう」を基に、思考・表現する学習活動を通して、道徳的な判断力の育成ができるよう工夫されている。		
	3	主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	キャラクターの問いかけにより、内容に興味・関心を抱かせることで、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	問題解決的な学習の仕方を示し、経験を踏まえた話し合いを通して、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	「学習の道すじ」で考える方向を確かめ、問題意識をもちながら、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	学習した内容を振り返るポイントを終末に示し、言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	異なる複数の意見と自己の意見を比較する言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	マスや罫線中心の別冊ノートで、書くことに重点を置いた言語活動を通して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。		
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	行事等の特別活動と関連が図り易いように配列し、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	教材と主な他教科等との関連を一覧で示すことにより、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。	道徳で学習した内容と他教科の内容との関連を示し、他教科等への広がりをもった学習ができるよう配慮されている。		
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	現代的な課題について考えるコラムや付録の資料等により、児童の実態に応じて教材を選択できるよう配列されている。	発達段階を踏まえ、2学年ごとに重点テーマとそれに沿った複数の教材を取り上げ、指導の重点化が図られるよう配列されている。	一つの内容を複数時間で取り扱ったり、2年間を見通した重点的な指導ができたりするよう系統的に配列されている。		

調査票		種目名 (小学校道徳科)					
観点	項目・発行者名(番号)	光文(208)	学研(224)	廣あかつき(232)			
2 組織 配列 分量	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	学校行事と関連付けた教材により、身近な地域、社会への興味・関心を高めるよう工夫されている。	七夕等、伝統文化に触れる機会を多く設け、地域を理解し、郷土を愛する心を育むよう工夫されている。	地域行事などを題材に取り入れ、地域の人々と関わりのある活動につなげるよう工夫されている。		
	3	内容と分量のバランスについて	全学年に40教材を取り上げ、教材間にコラムをいくつか位置付ける等、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年に34～35教材を取り上げ、2学年ごとに重点テーマを設定する等、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。	全学年に35教材を取り上げ、現代的課題に関する教材を巻末に特設する等、学校が郷土資料を加えて扱う際の内容と分量のバランスについて配慮されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	挿絵と文章を対応させるよう、一行の文字数を工夫し、読み取り易くなるよう配慮されている。	文章にできるだけ平易な表現を使用しながら、読み取り易くなるよう配慮されている。	文章に心内語を多用し、登場人物の心情表現が読み取り易くなるよう配慮されている。		
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	第3学年までは全ての漢字にルビを振り、分かり易さに配慮する等、表記の工夫がされている。	A4判の判型を生かして、大きな挿絵や写真等を豊富に使用する等、表記の工夫がされている。	白を基調とした落ち着いた紙面で、必要な情報を正しく捉えられるよう表記の工夫がされている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	巻頭に道徳の学び方の例を複数ページで示す等、使い易くなるよう配慮されている。	内容項目別目次も掲載し、児童がねらいを意識して学習できる等、使い易くなるよう配慮されている。	色をおさえた目次により、教材を見易くする工夫がされており、使い易くなるよう配慮されている。		
	総合所見	問題意識をもって教材を読めるようにし、脚注部の吹き出しで多面的・多角的な考えを促し、まとめ、広げていく紙面構成で、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、全学年で40教材を取り上げ、学校の実態に応じて選択できるよう配慮されている。	主題名を冒頭に記載せず、児童の問題意識を大切に、児童自ら考えを深める活動を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、多様な価値観を踏まえて、児童が他者と対話し、協力し合いながら、考え、議論して学習できるよう配慮されている。	本冊の各教材に「考えよう・話し合おう」を設定するとともに、別冊ノートは様々な紙面でまとめることができるようにし、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、現代的な課題に関する教材を巻末に特設し、身近な問題として捉えられるよう配慮されている。			